

新規採用・削除医薬品等通知

薬剤部 医薬品情報管理係

新規採用医薬品通知

(薬品名)	ザファテック錠 100 mg	市販直後調査 平成 27 年 5 月～平成 27 年 11 月
(英名)	Zafatek Tablets 100mg	
(規格・含有量)	1 錠中、トラグリプチン 100mg を含有	
(一般名)	トラグリプチンコハク酸塩	
(メーカー名)	武田薬品工業株式会社	
【薬価収載日】	2015 年 5 月	
【薬価】	1 錠: 1045.10 円	
【薬効コード】	873969	
【薬効分類名】	持続性選択的 DPP-4 阻害剤 -2 型糖尿病治療剤-	
効能・効果	2 型糖尿病	
用法・用量	通常、成人にはトラグリプチンとして 100mg を 1 週間に 1 回経口投与する。	
禁忌	①重症ケトosis、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1 型糖尿病の患者[輸液、インスリンによる速やかな高血糖の是正が必須となるので本剤の投与は適さない。] ②重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者[インスリン注射による血糖管理が望まれるので本剤の投与は適さない。] ③高度の腎機能障害患者又は透析中の末期腎不全患者[本剤は主に腎臓で排泄されるため、排泄の遅延により本剤の血中濃度が上昇するおそれがある。] ④本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	
相互作用	本剤他剤副作用増強 スルホニルウレア剤(グリメピリド、グリベンクラミド、グリクラジド、トルブタミド 等)、速効型インスリン分泌促進薬(ナテグリニド、ミチグリニドカルシウム水和物、レバグリニド)、 α -グルコシダーゼ阻害剤(ボグリボース、アカルボース、ミグリトール)、ビッグアナイド系薬剤(メホルミン塩酸塩、ブホルミン塩酸塩)、チアゾリジン系薬剤(ピオグリタゾン塩酸塩)、GLP-1 受容体作動薬(リラグルチド、エキセナチド、リキシセナチド)、SGLT2 阻害剤(イブラグリフロジン L-プロリン、ダパグリフロジンプロピレングリコール水和物、トホグリフロジン水和物、ルセオグリフロジン水和物 等)、インスリン製剤 その他 糖尿病用薬の血糖降下作用を増強する薬剤(β -遮断薬、サリチル酸製剤、モノアミン酸化酵素阻害薬、フィブレート系の高脂血症治療薬 等)、糖尿病用薬の血糖降下作用を減弱する薬剤(アドレナリン、副腎皮質ホルモン、甲状腺ホルモン 等)	
副作用	重大な副作用 低血糖、(類薬: 急性膵炎、腸閉塞) その他 発疹、そう痒、心房細動、ALT(GPT)上昇、AST(GOT)上昇、 γ -GTP 上昇、血中アミラーゼ上昇、リパーゼ上昇、CK(CPK)上昇、尿潜血陽性、鼻咽頭炎 等	

(薬品名)	ジオクチルソジウムスルホサクシネート 耳科用液 5%「CEO」10mL
(英名)	DIOCTYL SODIUM SULFOSUCCINATE OTIC SOLUTION 5%
(規格・含有量)	1mL 中、ジオクチルソジウムスルホサクシネート 50mg を含有
(一般名)	ジオクチルソジウムスルホサクシネート
(メーカー名)	セオリアファーマ株式会社
【薬価収載日】	2015 年 6 月
【薬価】	1mL: 55.10 円
【薬効コード】	871329
【薬効分類名】	耳垢除去剤
効能・効果	耳垢の除去
用法・用量	通常綿棒等で外耳へ塗布して使用する。除去困難な場合は数滴点耳後5分～20分後に微温湯(37℃)にて洗浄を行う。 高度の耳垢栓塞の場合は1日3回、1～2日連続点耳後、微温湯(37℃)洗浄を行う。
禁忌	鼓膜穿孔のある患者[症状を増悪させるおそれがある。]
相互作用	記載なし
副作用	重大な副作用 記載なし その他 掻痒感、外耳道発赤、疼痛、皮膚炎、かぶれ 等

削除医薬品通知

●10月1日より	
パンスポリン T 錠 200 mg	10/1 削除
耳垢水	10/1 削除

医薬品変更通知

今回採用医薬品(採用)	従来採用医薬品(削除)
●10月6日より	
デキサート注射液 1.65 mg/0.5mL	デカドロン注射液 1.65 mg/0.5mL
デキサート注射液 6.6 mg/2mL	デカドロン注射液 6.6 mg/2mL

医薬品名称変更通知

新製品名	旧製品名
●10月6日より	
ジピリダモール散 12.5%「JG」	アンギナール散 12.5%

適応追加通知

イグザレルト錠 10 mg イグザレルト錠 15 mg 市販直後調査 調査対象: 深部静脈血栓症及び肺血栓 栓症の治療及び再発抑制 (2015年9月～2016年3月)	【効能・効果】 1. 非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制 2. 深部静脈血栓症及び肺血栓栓症の治療及び再発抑制 【用法・用量】 1. 省略 2. 深部静脈血栓症及び肺血栓栓症の治療及び再発抑制 通常、成人には深部静脈血栓症又は肺血栓栓症発症後の初期3週間はリパーロキサバンとして15mgを1日2回食後に経口投与し、その後は15mgを1日1回食後に経口投与する。
ラミクタール錠 小児用 2 mg ラミクタール錠 小児用 5 mg ラミクタール錠 25 mg ラミクタール錠 100 mg 市販直後調査 調査対象: 定型欠神発作 (2015年9月～2016年3月)	【効能・効果】 てんかん患者の定型欠神発作に対する単剤療法 【用法・用量】 てんかん患者に用いる場合 小児: 単剤療法の場合(定型欠神発作に用いる場合) 通常、ラモトリギンとして最初の2週間は1日0.3mg/kgを1日1回又は2回に分割して経口投与し、次の2週間は1日0.6mg/kgを1日1回又は2回に分割して経口投与する。その後は、1～2週間毎に1日量として最大0.6mg/kgずつ漸増する。維持用量は1日1～10mg/kgとし、1日1回又は2回に分割して経口投与する。症状に応じて適宜増減するが、増量は1週間以上の間隔をあけて1日量として最大0.6mg/kgずつ、1日用量は最大200mgまでとし、いずれも1日1回又は2回に分割して経口投与する。
クラビット点滴静注バッグ 500 mg/100mL	【効能・効果】 <適応菌種>レボフロキサシンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、 腸球菌属、モラクセラ(ブランハメラ)・カタラーリス、炭疽菌、大腸菌、チフス菌、パラチフス菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンス属、ペスト菌、インフルエンザ菌、緑膿菌、アシネトバクター属、レジオネラ属、ブルセラ属、野兔病菌、ペプトストレプトコッカス属、プレボテラ属、Q熱リケッチア(コクシエラ・ブルネティ)、トラコーマクラミジア(クラミジア・トラコマティス)、肺炎クラミジア(クラミジア・ニューモニエ)、肺炎マイコプラズマ(マイコプラズマ・ニューモニエ) <適応症>外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、 膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎(急性症、慢性症)、精巣上体炎(副睾丸炎)、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、腸チフス、パラチフス、子宮内感染、子宮付属器炎、炭疽、ブルセラ症、ペスト、野兔病、Q熱 【用法・用量】 通常、成人にはレボフロキサシンとして1回500mgを1日1回、約60分間かけて点滴静注する。
パクリタキセル注 30 mg/5mL パクリタキセル注 100 mg/16.7mL	【効能・効果】 卵巣癌、非小細胞肺癌、乳癌、胃癌、子宮体癌、再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌、再発又は遠隔転移を有する食道癌、血管肉腫、進行又は再発の子宮頸癌、再発又は難治性の胚細胞腫瘍(精巣腫瘍、卵巣腫瘍、性腺外腫瘍) 【用法・用量】 胃癌にはA法又はE法を使用する。なお、投与量は、患者の状態により適宜減量する。 A法: 通常、成人にはパクリタキセルとして、1日1回210mg/m ² (体表面積)を3時間かけて点滴静注し、少なくとも3週間休薬する。これを1クールとして、投与を繰り返す。 E法: 通常、成人にはパクリタキセルとして、1日1回80mg/m ² (体表面積)を1時間かけて点滴静注し、週1回投与を3週連続し、少なくとも2週間休薬する。これを1クールとして、投与を繰り返す。